



NO.

いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

身心一如

住職 平田真純

仏教では、「身心一如」という言葉がよく使われます。身体と精神は別の次元のものではないということですが、俗に「病は氣から」などと例えられるように、心身の健康はつながっているという実感を通して、私たちはその言葉を理解していると思います。

関連して、「性相不二」という言葉も、仏教ではよく使われますが、「性」とはものの本性・本質ということであり、「相」とは現象として現れたすがたということ、その二つは別物ではないということです。私たちの心の本性は、目に見えるすがたとして現れてしまふと例えることもできましよう。

ある意味、身体の好不調や見た目の様子は、各々の心のあり方のあらわれかもしれません。精神が健全であれば、ある程度身体も健康だし、見た目もよいでしょう。しかし心に何か良くないものを抱えていると、体調もすぐれないように感じたり、見た目の印象も暗かったりします。

要は、常に悩みなく精神が健全であれば、身体も健康で、澁刺と感じられるはずであり、信仰の目的もそ

こにあるといえるかもしれません。しかしそう簡単にいかないのが実情です。身体の物理的な健康や機能は、結果として見えるのでわかりやすいのですが、心の精神的な健康や機能は分かりにくいということが言えます。しかしたとえば、身体の運動能力的な機能は、心の機能にも応用して考えられます。

身体を動かすのに必要な機能はたくさんあると思いますが、その中でも筋力と柔軟性は大切なことと思われまふ。筋力を鍛えることを心にたとえれば、それは障害を乗り越えるときか、逆境に耐えるといった精神的負荷を克服することに応用できましよう。逆境のときは鍛えるチャンスと、日々の努力と信仰に、より一層励みたいものです。

また体が硬ければ怪我をしやすすし、心が硬ければ精神も脆いでしょう。心の柔軟さとは、こだわりから離れ、自分だけの狭い判断でものごとをみないということではないでしょうか。雑念を捨てて、ご本尊にお勤めをし、良いお智慧をいただくことが肝要と思いまふ。

言うは易し行は難しですが、信仰によって、心の健康を保ちたいものです。

待乳山だより

朝まいり会のご案内

毎月一日〜七日開催 午前八時より三十分

会費 五百円

当山では布教と信徒の皆様との交流を目的として、昭和二十五年に朝まいり会を発足しました。

現在に至るまで当山僧侶の導師で、皆様と共に朝のお勤めを行っております。最終日には、信徒会館にて御供米を用いて齋食儀を実施しています。

一日のみの参加でもけっこうです。正しい礼拝作法を身につけたい方は、ぜひご入会ください。

朝まいり会大般若法要

五月七日 午前九時

また朝まいり会では、日頃のご加護に感謝するために、毎年正五九の七日に大般若法要を執行しております。朝まいり会の会員の方の参加は無料ですので、こちらもご参加ください。

奉納

宗方澄子様より箆笥を一棹御奉納いただきました。本堂にて、御供物やお札の整理に使わせていただきます



お宮参り

三月十二日山下貴八くん、二十一日田中陽茉莉ちゃんのお宮参りを行い、ご宝前でお加持が授けられました。尊天様のご加護で健やかに成長されることをお祈りしております。



当山の縁起物として、福を授ける巾着型の

今戸焼貯金箱があります。かつては東京近郊で広く使われていた今戸焼ですが、今では名前を知らない方も増えているようです。



今戸焼とは、江戸時代から今戸で製造された焼き物のことです。

今戸焼貯金箱

作り、江戸住民の需要

に比べ続けたようです。

江戸時代には隆盛を誇った今戸焼ですが、

震災や戦災によって職人たちは徐々に今戸を

離れていきました。今では白井家六代目の白

井裕一郎さんが、唯一の今戸焼職人として伝

統を守り続けています。



行事報告

三月十三日(日)、稻荷祭を執り行い、稻荷様の前で般若心経、観音経をお唱えいたしました。

三月二十日(日)、婦人講を執り行いました。大般若法要により家内安全を御祈願いたしました。

朝まいり会 四月度表彰者(敬称略)
一年 小澤美佳

待乳山本龍院 五月の行事

大般若講

五月二十日(金) 午前十一時

講金 一、五〇〇円

五月二十日、大般若講において大般若転読会を執行いたします。大般若経は、三蔵法師玄奘がインドから中国に持ち帰り、翻訳した経典です。五百万字六百巻という膨大な内容を持ち、供養すれば多くの功德を得ると説かれています。

経典を一字一句すべて読み上げることが「真読」と呼びます。しかし、少数の僧侶のみで大般若経のような長い経典を真読すると、何日もかかってしまいます。そこで経典を省略して読む「転読」と呼ばれる作法が生まれました。

転読会の際は、導師が「大般若波羅蜜多経…」と経題を読み上げると、出仕した僧侶もそれに続いて経題を大声で唱えます。そして、経巻を扇のように大きく広げて捲り上げ、終わったものを経箱に打ちつけます。ダイナミックな動きや大きな音に驚かれる方も多いのですが、この音もまた魔を払う効果があると言われています。



仏教の智慧、悟りについて書かれた大般若経をよく読誦し、他人に伝えることは、仏法を守護する諸天にとってもこの上ない喜びであることでしょう。単に幸福を祈願するだけでなく、諸天に御礼を申し上げる法要でもあるのです。聖天様と縁を結ぶためにも、この機会にみなさまご参加いただき大般若転読会をご覧ください。



総代世話人往来

今年度より、西川晃敏様が新たに総代として任命されました。

同じく今年度より、竹中輝夫様が世話人として任命されました。

また定年により倉崎良子様、安西美佐子様、ご両名が世話人を退任されることになりました。

長い間、当山の発展のためにご尽力いただき、ありがとうございました。

坐禅の会 五月は二

十一日に開催します

毎月第四土曜日に行っている坐禅の会ですが、信徒旅行の日程の都合により、一週間早い二十一日(土)に開催させていただきます。時間は午後六時から八時。会費は五百円になります。参加希望の方は事前に寺務所にてお申し込みください。



五月行事予定

大般若講

五月二十日(金) 午前十一時

講金 一、五〇〇円也

皆様の家内安全、身体健全を祈願いたします。

朝まいり会

五月一日〜七日 午前八時から八時半

会費 月 五〇〇円也

都合のよい日にご参加ください。最終日には、お勤め終了後に食事作法と大般若法要を行います。

日曜勤行

五月八日(日) 午前九時

参加費 無料

初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

写経の会

五月八日(日) 午前十時/午後一時

会費 五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

坐禅の会

五月二十一日(土) 午後六時〜八時 定員三十名 参加費 五〇〇円也

信徒旅行の日程の都合により、五月の坐禅の会は二十一日に開催いたします。

定員になり次第、募集は締め切らせていただきます。

信徒旅行

五月二十八日(土)〜二十九日(日) 定員四十五名 参加費 四五、〇〇〇円也

今年比叡山延暦寺にある居士林にて修行体験を行う他、聖天堂、律院を参拝します。

合同大般若法要

五月二十五日(水) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

五月の行事

地藏供養会

六月二十四日(金) 午前十一時

講金

一、五〇〇円也

ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、孫天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈禱料

別座祈禱 壱万円以上(一週間)

浴油祈禱 三千五百円以上(一週間)

華水供 五百円/一日